

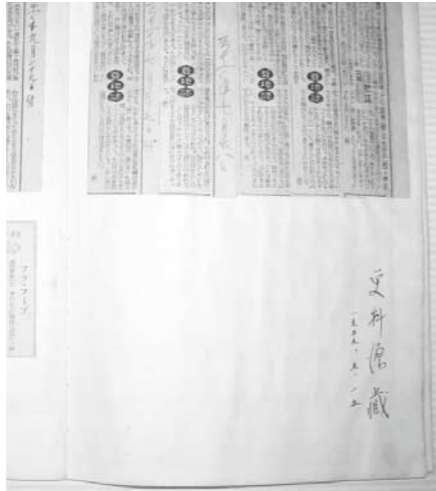


更科源蔵(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動を続けた。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



小山操が弟子屈の老人ホームに残っていたスクラップ帳(更科源蔵資料ほか-弟子屈町図書館保管)



更科の新聞記事が貼られたスクラップ帳に「更科源蔵 1959.5.15」のサインがある



装画は更科源蔵

『わが師 わが友』

更科は、人が集まって来やすい不思議な雰囲気を持つていました。そのため人脈も広く、詩人などの文学者をはじめ、音楽家や画家などの芸術家、各学術分野の研究者、市井(一般)の人など、多岐にわたっていました。出会うことができた人たちのことを、機会があるごとに文章に書き留めていたものを拾い集め、編んだのが『わが師 わが友』です。

更科はある日、これまで出会った人たちの中の、1人の老女が世を去ったという新聞記事を目にします。その女性は、釧網線が弟子屈まで開通した1929(昭和4)年に弟子屈の駅で見かけたことがあり、それから30年後に一度だけ言葉交換したことがある方でした。歌人の石川啄木が放浪の果て、釧路新聞社の記者として76日間の釧路生活をしていたときに、芸者の小奴とともに啄木に好意を寄せていた、梅川操こと小山操です。

1959(昭和34)年、更科は知人を通して小山から、戦争中に広島で原爆の被害に遭い、今は室蘭にいたので一度会いたい、と伝えられます。更科は、弟子屈の駅で見かけたときから時が経ち、もう老女となつてはいるだろうし、啄木との昔話やら愚痴を聞かされるのだから、と出かけていきます。しかし、意外にも小山からは、更科が新聞や雑誌に書いた雑文をスクラップ帳に貼り込んでいたのを見せられます。「私あんなのファンなのよ、もう少し若かったらね」といたずらっぽく笑い、スクラップ帳に署名を求められ、啄木の話は一つも出なかったのです。

小山は、啄木の著書の中であしざまに書かれ、啄木への愛情が激しい憎しみに変わっていったといわれています。その後、どういふ運命をたどったのか定かなことは知り得ませんが、更科の文章を読み、そこに出てくる弟子屈の原野に故郷を感じたのでしょうか。晩年は弟子屈に住み、弟子屈にある老人ホームで人生を終えたのです。

更科は80数年の人生を振り返り「自分がこの世に存在するために、随分いろいろな多くの人々を手を曳いてもらったり、後から押ししてもらったりして、人生の山坂を登りおりした。中にはある人には意地悪く、行手に立ちふさがつて、前進をはばまれたこともあった。しかしそのため私の運命は、思いがけない別な幸せに行き逢つたりもした」と、不思議な縁で出会った人たちのことを思い出しています。

利用期間/10月8日(月)体育の日まで

弟子屈2days えこパスポート

利用料金/大人1,500円 子ども500円



「弟子屈2days えこパスポート」が7月14日から始まっています。今年も多くの観光客の皆さんから好評をいただいでいて、今夏は前年を上回るペースで販売実績を上げています。(9月20日時点)

えこパスポートの利用期間は、体育の日の10月8日までと残りわずかになりました。えこパスポートは観光のための交通としてだけでなく、地域の公共交通を活性化させたいという目的も含めて実施しています。普段は公共交通を利用しないという町民の方も、ぜひ一度バスや列車の良さを知ってください。

えこパスポートは、町内のJRやバスが2日間乗り放題で大人1,500円、子ども500円です。通常の料金よりはるかにお得に、バスやJRを利用できます。

▶販売場所/えこパスステーション(JR摩周駅内・JR川湯温泉駅内)・(株)ツーリズムてしかが(川湯温泉1丁目)

※上記以外の販売場所については、(株)ツーリズムてしかがにお問い合わせください。

※グループや団体などで利用される場合は、必ず事前にご相談ください。

▶内容/JR(摩周駅~川湯温泉駅)・摩周湖バス・屈斜路バス・町内路線バス・期間限定ジャンボタクシー すべて2日間乗り放題(乗り降り自由)

▶特典/レンタサイクル無料(屈斜路バスに乗せられます)・協賛店での特典いろいろ



主催/弟子屈町地域公共交通活性化協議会
問い合わせ先/(株)ツーリズムてしかが ☎483-2101



図書館だより

中央2丁目4番1号
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆特集展示『芸術の秋』

秋の行楽シーズン、旅先の思い出や風景、何気ない日常を、一枚の写真や絵に残してみませんか?

芸術の秋にちなみ、写真撮影の技術や写真集、絵の描き方の本を展示しています。

▼場所/特集展示コーナー

☆絵本特集展示

『グリム童話』

今年、グリム童話が出版されてから200年目に当たります。

「あかすきんちゃん」や「ブレーメンの音楽隊」など、おなじみの絵本を展示しています。

▼場所/絵本展示コーナー

★10月27日~11月9日は

2012(第66回)読書週間

今年の標語(ホントノキズナ)

新刊案内

- 「仮説の昭和史 上・下」 保阪 正康/著
 - 「手づくりする木の器」 西川 栄明/著
 - 「サエズリ図書館のワルツさん 1」 紅玉いづき/著
 - 「髪 PERFECT BOOK 大人男子のかっこいい髪型・髪ワザ・髪グッズ」 津田 真吾/編
 - 「負けない心 メジャーリーガー不屈の言葉」 広岡 勲/著
 - 「2014年度版 資格取り方・選び方 オールガイド」 日本文芸社/編
 - 「ああ面白かったと言って死にたい」 佐藤 愛子/著
 - 「アトピーがぐんぐん消えた!」 逸村 弘美/著
 - 「誤解だらけの認知症」 市川 衛/著
 - 「世界のニュースがわかる本」 岩本 裕/著
- たくさんのお待たしありがとうございます!

おすすめの新刊

「麻酔をめぐるミステリー 手術室の「魔法」を解き明かす」 廣田弘毅/著

もしも麻酔がなかったら、歯の治療や手術はどんなに苦しいものだろうか... 全身麻酔をめぐるさまざまなミステリーを取り上げ、麻酔の迷宮を探検。その大きな謎の解明に挑んだ1冊。